

## 会 議 録

|          |   |                      |
|----------|---|----------------------|
| 会議名称     | 令和4年度第1回大空町社会教育委員会議   |                      |
| 開催日時     | 令和4年6月22日(水)  | 18時30分から<br>19時30分まで |
| 開催場所     | 女満別研修会館 大会議室  |                      |
| 出席者の氏名   | <p>(委員) ※敬称略<br/>           大井 徹也 豊島 孝一 植松 あゆみ 中村 厚志 村上 守 森 敦<br/>           大辻 雄介 河崎 琢哉 鈴木 智子 中村 貴子 大槻 晶子 岩原 基之<br/>           原本 直也 竹内 大輔</p> <p>(教育委員会)<br/>           関谷教育長 砂金参事 歌丸主幹 南部主査 河西主査 中村主事補<br/>           宮下主事補</p>  |                      |
| 傍聴者の数    | —   |                      |
| 会議資料の名称  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和4年度第1回大空町社会教育委員会議 議案</li> <li>○ 大空町社会教育中期計画</li> <li>○ 別紙1 令和4年度社会教育推進計画(単年度)</li> <li>○ 別紙2 令和4年度社会教育委員活動について</li> </ul>  |                      |
| 審議内容及び結果 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○教育長挨拶</li> <li>・令和4年6月1日付で大空町教育委員会教育長に就任。令和2年度まで女満別小学校校長として勤務しており、社会教育委員として関わらせていただいた。</li> <li>・町内の運動会は、延期対応や雨・寒さ対策をしながら、何とか実施することができた。</li> <li>・町内における新型コロナウイルス感染者数が減少傾向となっていることから、公共施設の利用制限は解除となっており、対策を講じた中での通常利用に戻っている。</li> <li>・昨年度「大空町社会教育中期計画」を策定し、1年間進めさせていただいた。大空町ならではの生涯学習社会の実現に向け、計画2年</li> </ul> |                      |

目の各種施策に取り組んでまいらる。

○自己紹介

○委員長及び副委員長の互選について

→事務局案のとおり可決

委員長：大井 徹也氏

副委員長：豊島 孝一氏、植松 あゆみ氏

○議案第1号 令和4年度社会教育推進計画について

事務局より別紙1を基に説明。

(質疑)

委員長：別紙1 p19「シニア向けスマートフォン教室」とあるが、コロナ禍において対面での繋がりづくりがなかなか難しい中、スマホをはじめとした「情報技術」を活用した社会教育事業の考え方はあるか。

事務局：第2次大空町教育推進計画の施策項目として「情報教育の充実」があり、また、社会教育中期計画においても、情報教育の充実として「地域・家庭・学校が連携し、インターネット社会における各種課題改善に向けた取組を促進します。」を基本方針としており「インターネット社会に対応するための情報活用能力を養うICTに関する講座の実施」を主な取組・展開の1つとしている。昨年度、コロナ禍において中止した「シニア向けスマートフォン教室を、今年度実施に向けて進めている。

竹内委員：別紙1 p21「文化財の保存及び活用の推進」について、東藻琴生涯学習センターに郷土資料室を開設していただき、かなりご苦労されたことと思う。ただ、テーマ別企画展や郷土学講座を実施する上で、手をかけないとあっという間に来る人がいなくなってしまう。町として、文化財を扱う専門職のようなものを置く考えはあるのか。また、郷土歴史・文化保勝会という団体にはどういった方がいらっしゃるのか分からない。予想するにかなり高齢の方ばかりだと思うが、将来的に機能しなくなる可能性があるのではないか。そういった可能性があるのであれば、現段階で何か手をうつ考えはあるのか。

事務局：昨年9月4日にオープン。女満別町・東藻琴村時代からそれぞれで収蔵されていたものを、大空町として両地区の特出すべきものを、生涯学習センターの空き室利用というかたちで展示をさせていただいている。大空町では学芸員という専門資格を持った職員がいないため、保勝会の皆様と協力しながら進めているところである。保勝会にはご高齢の方が多くいらっしゃるが、河崎委員も所属しておりますし、適宜ご意見をいただきながら展示している。先を見据えた中で、郷土資料室ボランティアのようなかたちで関わっていただける方を広報等で募集している。

○議案第2号 令和4年度社会教育委員活動について

事務局より別紙1・2を基に説明。

→質疑等なし

○その他

事務局より

- ・報酬、費用弁償について
- ・大井委員長について、社会教育委員として12年（前任期まで）お勤めいただいていることから北海道表彰に該当するため、推薦をさせていただいた。
- ・東オホーツク定住自立圏共生ビジョン懇談会委員として、社会教育委員会より1名推薦するよう大空町より依頼があったため、大井委員長を推薦させていただいた。
- ・次回については、地域課題・ニーズの把握という観点から、委員の皆様にお話しいただくワークショップ形式で開催することとした。

○委員長挨拶

- ・2年間、大空町社会教育の発展・振興のため委員長を務めますので、委員皆様のご協力・ご指導をいただきたい。
- ・コロナ禍で、社会教育とは何か、大空町民のため、生きがいや働きがいを高めるために何ができるのかという想いを持った。
- ・先週6/14内閣府より「高齢社会白書」によると「65歳以上の高齢者約2割が、近所付き合いや友達との外出の機会が少なくなり、生きがいを感じづらくなった。」とのことである。まさに社会教育の

|  |   |
|--|---|
|  | <p>出番だと思っている。大空町に関わる人々の生きがいや働きがいを高める「つながりづくり」を、委員皆様と一緒に考えていきたい。</p> |
|--|---|